

6月25日(土)

13時30分～17時(13時20分開場)

会場:港区立産業振興センター

ホール小 TEL:03-3578-2558

港区芝 5-36-4 札の辻スクエア 11階

【アクセス】JR 田町駅から徒歩4分、都営三田線三田駅から徒歩2分



第34回学習会

資料代500円

シリーズ **731部隊の細菌戦**

〈2回目 1940年 新京のペスト〉

講師 **奈須重雄** さん (731部隊研究者)

1940年6月、731部隊が農安県城に細菌戦を実施したため、ペストが大流行し多くの犠牲者をだした。新京は農安の南方わずか60Kmである。ペストの研究者は、農安県城にペストが発生すれば新京に伝播するのは必至だと警告していた。そのペストが「満州国」の国都であった新京を侵襲した。「満州国」や満鉄による防疫が行われる中、突如731部隊が参入し、防疫の指揮をとった。731部隊はどのような活動を行い、その目的は何なのだろうか。

《今も政府が認めない731部隊とは?》

日本軍中枢は国際法を無視して細菌戦を構想した。1936年、細菌戦部隊の関東軍防疫部を設け、ハルビン郊外の平房に大規模な施設を建設。1940年、同施設を本部とする「関東軍防疫給水部」が設けられ、翌年から731部隊と呼ばれた。

731部隊では、細菌兵器の開発・製造のため、3千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが敗戦までに虐殺された。他方、細菌作戦は、1940年から1942年まで中国の浙江省や湖南省などで実施されペストやコレラを大流行させ少なくとも3万人を虐殺。1944年以降、731部隊は米軍へも細菌戦の発動を準備していた。

731部隊問題関連裁判の裁判日程

傍聴をお願いします!

- ・化学学校記事情報公開裁判【東京地裁民事第3部】 / 703号法廷 / 7月6日(水)11時
- ・衛生学校記事情報公開裁判【東京地裁民事第51部】 / 103号法廷 / 7月19日(火)13時30分

主催: NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター

2022.04.28

共同代表 近藤昭二 [ジャーナリスト]・王選 [細菌戦犠牲者遺族、上海交通大学客員教授]・奈須重雄 [731部隊研究者]

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋 1-21-5 / Email: info@ichinoselaw.com 担当元永 (もとなが)

Tel:03-3501-5558 Fax:03-3501-5565 / ◆ Website: <http://www.anti731saikinsen.net/>